# 松山大学創立100周年·松山子規会創立80周年 記念

第5代松山市長にして松山大学の創設三恩人の一人(ほか新田長次郎、加藤彰廉)

# 子規の叔父・加藤拓川展



愛媛初公開、拓川の遺した作品・資料





1906年 秋山好古から拓川宛の葉書

(このほか正岡家所蔵の拓川の多くの遺品を展示しております)

# 期間/令和5年(2023年) 2月16日(本)~3月5日(日)

[開館時間] 9:40~18:00 (入場17:30まで 最終日15:00閉館) [休館日] 2月20日(月)、2月27日(月)

# 場所/愛媛県美術館 南館1階(松山市堀之内)

※ ご来場の際は、マスクの着用をお願い致します。

主 催/松山大学・松山子規会

共 催/愛媛県美術館・愛媛新聞社・あいテレビ

後 援/愛媛県・愛媛県教育委員会・松山市・松山市教育委員会

特別協力 / 松山大学温山会

協 力/正岡家

入場料/一般 800円 (前売り 500円) 学生(中高生) 300円(前売りなし)、小学生以下無料



新田長次郎



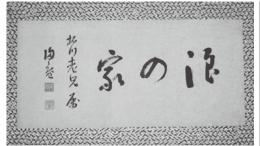
加藤彰廉

拓川とともに、松山大学の建学に寄与した「創設の三恩人」とされる新田長次郎(莫大な私財を寄付)と加藤彰廉(初代校長)の品も展示させていただいております。

松山大学は2023年に 創立100周年を迎えます。



#### 拓川展 展示予定品 (一部を御紹介)



1923年 西園寺公望が拓川の別邸名を揮毫



1900年 ロンドンの漱石から子規宛の葉書



1914年 左より律、忠三郎 (拓川の三男)、八重



1922年 犬養毅 揮毫(拓川宛)



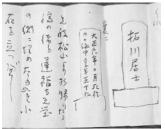
1919年 パリ講和会議 メダル



1920年 張作霖から拓川宛の写真



1914年 ヨーロッパでの世界地図



1917年 拓川による遺言の書簡



1919年 特命全権大使の辞令



1921年 近衛文麿から拓川宛の書簡



動一等旭日大綬章 正章



拓川から子規宛の書簡

#### ● 加藤恒忠(拓川)(1859~1923)

外交官。政治家。正岡子規の叔父。明教館教授の漢学者・大原観山の三男として1859年に松山市湊町に生まれる。本名は恒忠、旧姓は大原。号の「拓川」は、「石手川」に由来する。藩校・明教館に学び、秋山好古と親交をもつ。甥の子規を生涯にわたり支援した。司法省法学校で出逢った原敬の紹介で外交官となり、特命全権大使に至るまで活躍。衆議院議員、「大阪新報」社長、貴族院議員を歴任し、晩年は第5代松山市長となり、城山公園払い下げや、松山高等商業学校(現・松山大)設立運動の中心的役割を果たす。1923年に65歳で死去。西園寺公望公の推挙により勲一等旭日大綬章が追贈された。

## 関連イベント 記念講演会

## 講師/正岡 明氏

(正岡子規研究所主宰、加藤拓川の令孫)

## 「加藤拓川没後100年を迎えて」

加藤拓川没後100年を迎えるにあたり、拓川の人と生涯について講演いただきます。

日時 / 2月18日出 14:00~15:30(13:40開場)

場所/愛媛県美術館 講堂(松山市堀之内) 定員/60名 ※要申込み・参加無料

※定員を超えた場合は抽選とし、入場券の発送をもって代えさせていただきます。 [申込み先]

はがき 又は Google Forms (QRコードご参照) にて、 郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記の上、〒790-8578 (住所不要) 松山大学創立100周年記念事業事務局「記念講演会」まで ※申込み締切日/令和5年1月31日(火必着



#### 子規の叔父・加藤拓川展 チケット販売所

松山大学生協、県内フジグラン各店舗、明屋書店県内各店、 あいテレビ(平日9:00~17:30)、愛媛新聞旅行(平日9:00~17:30、土曜9:00~14:00) 【取り寄せ】愛媛新聞社県内支社・エリアサービス・四国中央テレビ お問い合わせ先 ※土・日・祝日は除く

松山大学創立100周年記念事業事務局

(担当:山戸)

TEL 089-926-7971 (平日10:00~17:00)